

昭和27年度業務報告

第一 漁 撈 部

I. 紀伊水道底魚資源調査

中型機船底曳網漁業の漁獲量減少の打開策として、水平的に、又垂直的に漁場の拡張が図られなければならない。垂直的漁場の拡張は、昭和24年度実施したが、500m以深における漁獲物は、この現漁具を用いては量、質共に甚しく劣り、漁場価値は低い状況であった。紀伊水道沖合では200m以深の漁場が利用されていないので、この漁場について検討するため、3月より調査を始めた。

1. 調査方法

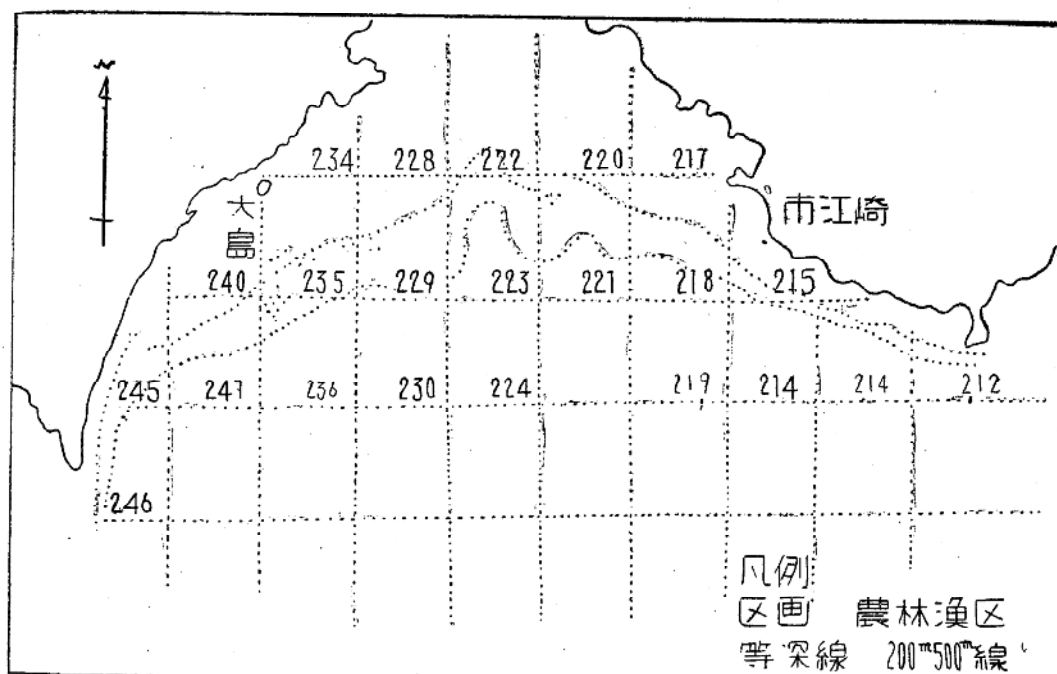
紀伊水道沖合潮岬より、空戸岬に至る間の200m~500mの水深帯を調査対象とし、試験船の操業により、その漁獲物名、漁獲量を100m深度帯別、農林漁区別に密度分布並びに魚類組成を明らかにする。又この漁業の主要漁獲物である=ギス・ヒゲナガエビ(方言ガスエビ)の産卵期、年令、成長度等生態について、名古屋大学に調査を委託して明らかにする。

2. 調査結果

この調査の3月における結果は次の通りである。

(i) 漁場 = 機船底曳網調査要図

(昭和28年3月分)



一般に徳島県側沖合は底質砂泥にして岩瀬、沈船等の羅り物なく、操業には危険を感じない。3月中に操業した漁場は主として農林漁区235, 236であつて、この漁場の300~400m線は砂泥にして蝦類が多い。大島以北の農林漁区222, 239では同じく砂泥であるが、泥の混合率が大きくなまこ類が非常に多い。揚網した囊網の中は有効魚種以外の不純物(なまこが主)が半ば以上

占めたことすらある。この漁場は えび・魚類 とも大島南のえび場よりも曳網当漁獲量は少い。

(ii) 月別＝操業回数及び漁獲量

操業日	曳網回数	ニギス	エビ	アオメエソ (日光)	タコ	アンコウ	カサゴ	イカ類	サメ類	カナガシラ	アナゴ	その他	漁獲高 総計	主として 操業した 漁場番号
		貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	
14日	3回		7.5			1.5	5.25					23.75	38.0	221
15日	6回	24.5	67.1	49.0	2.0	11.0	4.3	3.0	1.5	2.1	2.1	96.9	263.5	229
17日	4回	2.1	97.3		4.0	5.0	4.5					46.4	159.3	235
18日	6回	21.4	35.6	1.4	4.0	10.5	4.0	4.0			5.9	72.8	159.6	236
22日	5回	17.8	92.5	11.5	10.0			2.0			7.0	90.5	231.3	230
23日	6回	21.0	114.0	30.0			9.0	3.5			7.0	105.5	290.0	235, 236
24日	3回	25.5	14.9	3.0			1.0			3.5		20.0	67.9	236
25日	5回	5.0	87.1	18.9			0.5				2.0	44.5	158.0	241
30日	2回		22.6	9.4		7.0						21.8	60.5	229
31日	4回		46.8				11.5					71.6	129.9	235
計10日	44回	117.3	585.4	123.2	20.0	35.0	40.05	12.5	1.5	5.6	24.0	593.75	1,558.3	

(iii) 深度別操業回数並びに1曳網当り漁獲高

深度帯別	操業回数	総漁獲高 (貫)	1曳網当り 漁獲高 (貫)
100~200	9 ^回	309.2	34.3
200~300	12	407.7	33.9
300~400	19	746.1	39.2
400~500	3	85.8	28.9
500以上	—	—	—
計	43	1,549.8	36.0

(註) 深度不明1回 8.5貫があつた。

(考 察)

本漁法の主操業深度は 200~500m 線に及ぶ深度であるが、最も量的に多いのは300~400m深度で然もその漁獲物組成比を見るに、蝦が4割以上を占め極めて有効な漁場といえる。又最も少いのが 400~500m 深度帯であるが、その漁獲物組成比及び、漁獲物の大きさにより前深度帯に劣らず有効である。

これと対照的に 100~200m、200~300m 深度帯は雑魚の組成比が高く、蝦類も小型のものが多く、却つて軽視される傾向にある。

(iv) 漁獲物組成について

計欄における漁獲物組成比をみるに、雑魚 28% に次いでガスエビ (ヒゲナガモドキ) ジンケン (主としてオキノスジエビ他2~4種) が 夫々18.2%、13.3% となつて、蝦全体では 37% と最大の組成比をしめす。

ニギスが 7.5% と小さいのは季節的移動と考えられ、秋期に於ける漁獲比と対照する必要がある。

目光 (アヲメエソ) の表値は小さいが実際には可なり多い。然し乍ら 7cm 以上の小型のものが多く、雑魚のうちに分類されたため、この表値は 8cm 以上のもの数値である。

マトウダイ (カガミダイも含む) が全く見られず、カサゴミズタコもまた少い。これは蝦類の多いのと対照的であつて、この漁場の特性となつている。

ハリイカが 150m 前後で可なり漁獲されているのが時季的現象と見られる。

(V) 深度帯別漁獲物組成

魚種 深度帯	ニギス	目光	スミクイ	ユメカサゴ	アソコ	サメ・エイ類	雑魚	イシモチ	ハダカイワシ	アナゴ	ソコクダラ	ヨロビイタチ	アラ・ムツ	カホウガシラ	ミシマオコゼ	カレイ	ガスエビ	ジンケン	カブトエビ	ボタソビ	シヤコエビ	ミズダコ	ヤスリスイカ	ハリイカ	計
100 ~ 200	80.2	9.0	5.3	75.5	2.0	25.5	23.2	0.5	5.3	5.6	5.4	10.5	4.9	40.3	2.5	1.0	1.0	12.5	309.2						
	25.9	2.9	1.7	24.4	8.2	7.5	1.7	0.4	0.4	1.8	1.7	3.3	1.5	13.0				4.0							
200 ~ 300	3.8	56.0	6.8	16.2	12.0	135.5	12.3	0.4	2.5	2.0	1.0	63.1	68.9	10.9	2.9	12.0	1.0	407.7							
		13.7	1.6	3.9	2.9	33.2	3.0					15.4	16.8	2.6	2.9										
300 ~ 400	22.7	57.2	13.6	20.85	18.5	1.5	209.1	33.8	0.4	5.3	6.75	2.0	189.4	92.0	31.6	3.5	20.9	17.0	745.1						
	3.0	7.6	1.8	2.7	2.4	28.0	4.5					25.3	12.3	4.2	2.8	2.2									
400 ~ 500	10.6	1.0	1.0	1.7	3.0	14.0	10.5			4.0		25.0	5.0	5.5	0.5	3.0	2.0	86.8							
	12.2		1.9	3.4	16.1	12.0				4.6		28.8	5.7	6.3	3.4	2.3									
500 以深																									
計	117.3	123.2	21.4	44.05	33.5	1.3	454.1	2.0	82.1	24.0	8.3	4.05	7.0	5.6	5.8	10.5	282.4	206.2	50.5	6.9	36.9	20.0	12.5	1,549.8	
	7.5	7.9	1.3	2.8	2.1	28.0	5.2	1.5	18.2	13.3	3.2	2.3	1.2												

(註) 1. 表中上段は貫数、下段は百分比である。 2. 漁獲量は深度により操業回数異なるから (iii) 表 参照。

(V) 主要漁獲物の体長(体重)分布

a. ニギス深度別体長分布瀬度

階級 深度帯	階級 (cm)														計
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18				
100 ~ 200		2	2	2	10	8	7	5		1					37
200 ~ 300							1			1	1	1	1		4

300 ~ 400 ^m				2	4	3	5	7	18	8	8	6	61
400 ~ 500						1	1	9	3	3			20
計	0	2	4	4	6	14	14	24	26	12	13	7	122

(摘要)

モードは 14cm、15cm にあつて、主たる深度は 300~400m 深度である。

100~200m 深度帯では若干小型となつて 12cm、13cm にあり、300~400m では 15 cm、16cm がある。
 又、徳島県の 2 艘曳漁獲物中のニギスは観察によれば小型で 10cm 前後にモードがあるのと考え合せると、深度を増すと共に大型化し且つ、漁獲量は減少することがいえる。

なお、この 14cm、15cm の魚群は昭和 25 年度事業報告と対照するとき、1 才群であると考えられる。

b. ガ ス エ ビ (体重瀬度)

階級 深度帯	2 ^g	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
100 ~ 200 ^m												
200 ~ 300		5	12	7	7	3	1	1	1	1	1	39
300 ~ 400	1	9	16	13	5	8	7	4	6	7	1	77
400 ~ 500	1	3	7	6		1	3		2			23
計	2	17	35	26	12	12	11	5	9	8	2	139

(摘要)

一般的には深度を増す毎に魚体は大きい。この瀬度数からは 3 深度帯共 4g、5g が最大であるが、実際は 200~300m 深度帯よりも 300~400m 深度が、又 300~400m 深度帯よりも 400~500m 深度が大型であつて、この表値は必ずしもこの傾向を表わしていない。これは標本数が少いためか、標本の採り方が偏つたものであつたためと思われる。

c. 目光深度別体長分布瀬度

階級 深度帯	cm															計	
	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0		12.5
100 ~ 200 ^m	2	4	9	18	20	6	11	5				1	1				77
200 ~ 300 ^l		1	2	6	8	9	7	4	1	2		1	1				42
300 ~ 400	6	7	13	19	29	31	9	17	7	7	4	6	11	8	1	1	176
400 ~ 500		1	1	4	7	6	2				1			2	1		25
計	8	13	25	47	64	52	29	26	8	9	5	8	13	10	2 ⁹	1	320

(摘要)

モードは 7.0cm、7.5cm にあつて、魚体は一般に小型である。小型のために船内トロ箱区分は雑魚のうちに入れられる実情であつて、別紙漁獲物組成表のうち、雑魚区分にかなりの量が混入されている。

なお、サラメエソには属のうち種が2乃至3に分れているとのことであるが、種の検定、その他精密調査は名大の調査報告による。この表ではアサメエソ属としての体長分布により漁獲物の一端を見た。

(考察)

この3月における試験操業結果は調査目数が少く、又漁場範囲が偏つているため単に予察の材料に過ぎないが、少くともこの調査範囲では漁場価値は非常に高いといえる。既成漁場の熊野灘と比較し、エビ類の分布密度は約3倍、魚類も又約5割多い。イカ・タコの類は若干少ないが、総漁獲量では1.5倍の漁獲量を示す。

この農林漁区 235、236 と共に他の漁場についても調査の進捗と共に新漁場の価値について明らかにされるものと期待される。

II. 鰺資源委託調査

1. 調査内容

本調査は東海区水産研究所の委託調査として昭和24年度以降継続実施中のものである。

鰺資源の実態を把握するために必要な各種研究資料を獲得し、これにより将来を予知するは勿論、年々継続的に適正漁獲量を決定し、以て斯漁業の恒久的発展を計るにある。

2. 調査方法並びに経過概要

A 産卵調査

産卵及び稚仔(海上)調査と海洋観測

a) 産卵及び稚仔魚採集

1. 調査日時

第 I 回 昭和27年6月28日~7月1日

- 第Ⅰ回 昭和27年8月9日～8月13日
- 第Ⅱ回 昭和27年10月4日～10月7日
- 第Ⅳ回 昭和28年1月18日～1月25日
- 第Ⅴ回 昭和28年2月23日～2月26日

2. 調査位置

別紙図面の通り。

3. 調査船

- 第1回 海幸丸 32.92 TS. 120 HP (Diesel)
- 第2回 白鷗丸 4.33 TS. 15 HP (Semi-Diesel)
- 第3回 海幸丸 32.92 TS. 120 HP (Diesel)
- 第4回 海幸丸 32.92 TS. 120 HP (Diesel)
- 第5回 海幸丸 23.92 TS. 120 HP (Diesel)

4. 採集方法

昭和27年度鱸資源委託調査実施要項に則り実施す。

b) 海洋観測

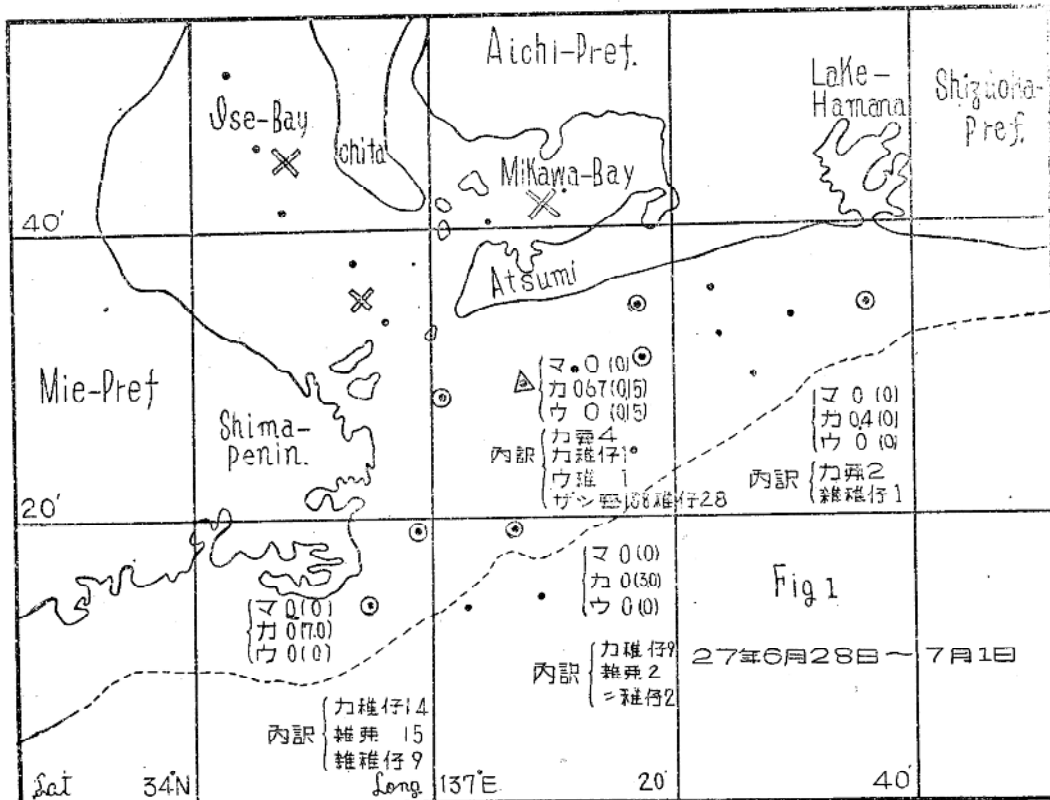
a)の産卵及び稚仔魚採集に付随して主としてその時の海況を調査す。

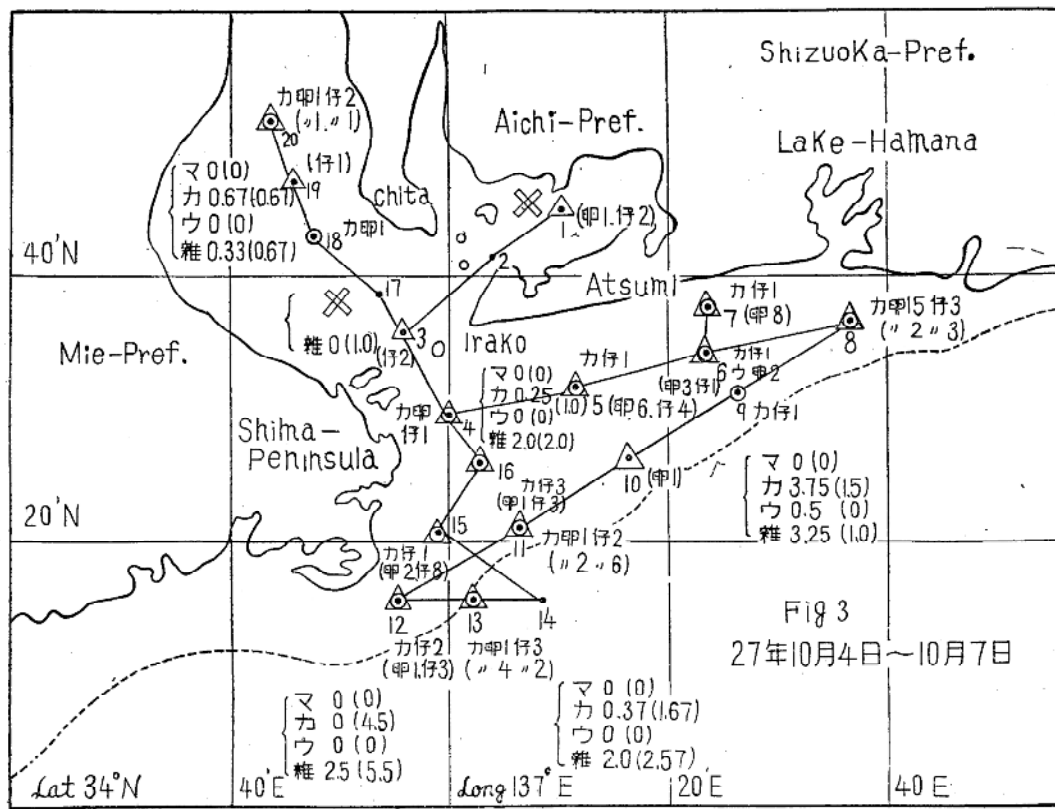
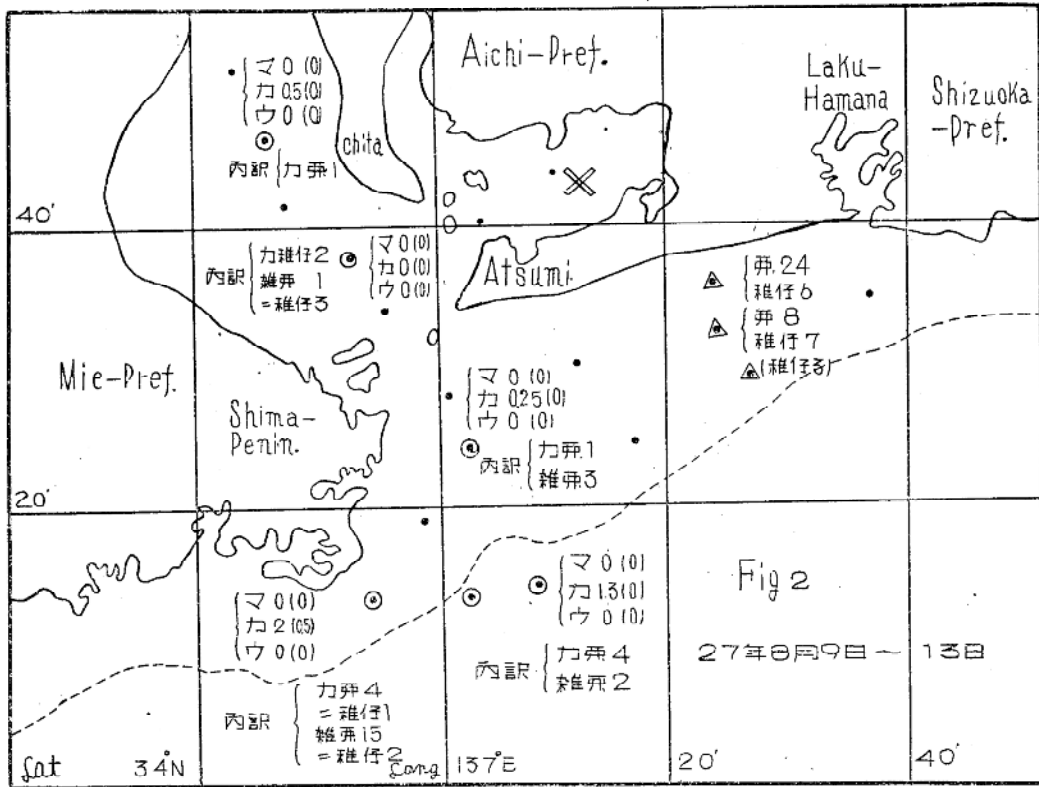
1. 調査項目

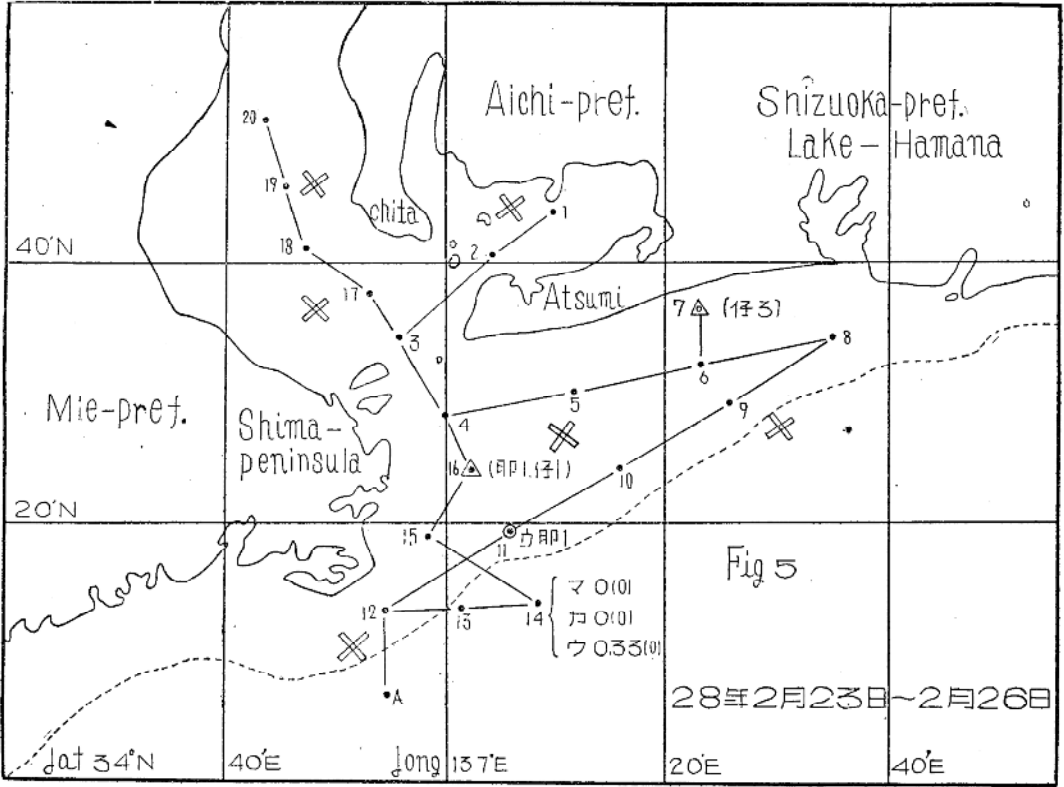
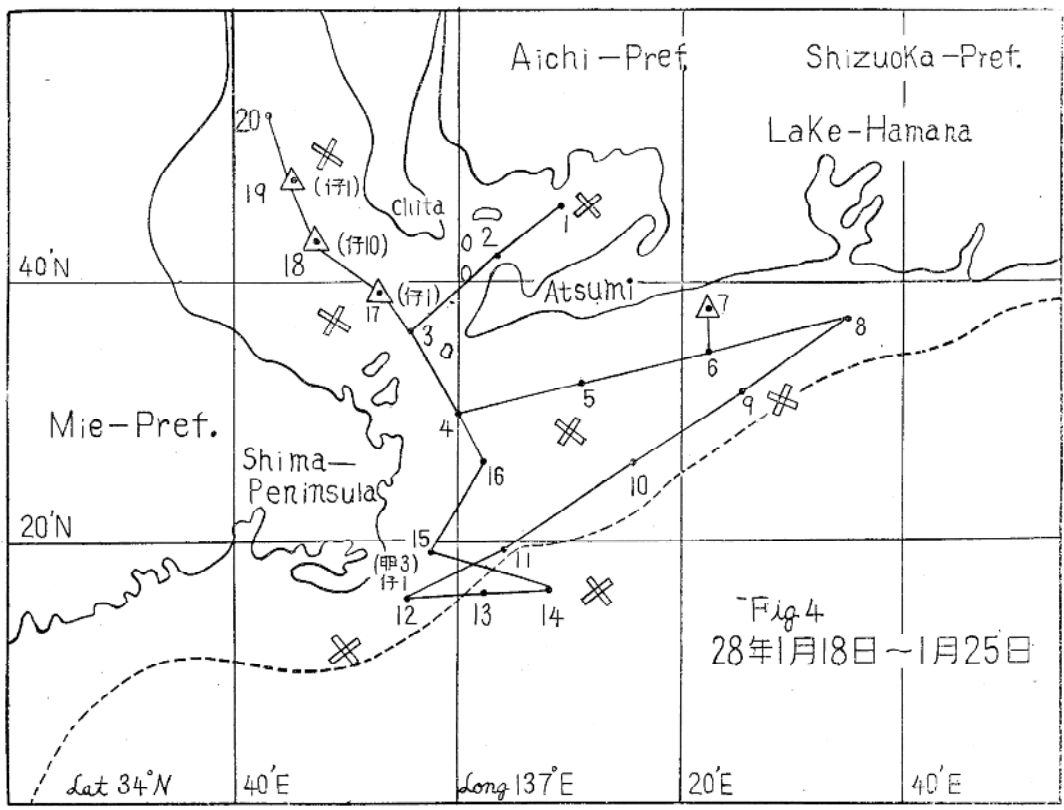
- ① 水温測定
- ② 塩分検定

c) 調査結果

1. 卵及び稚仔魚の分布状況





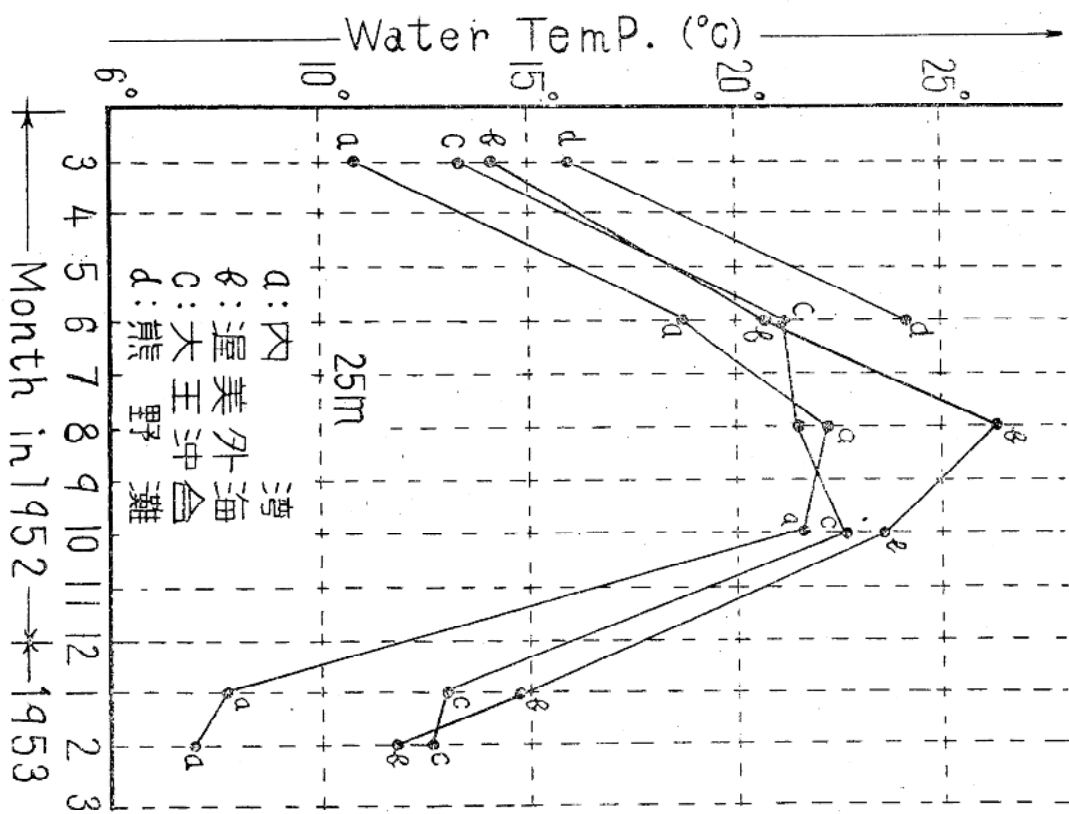
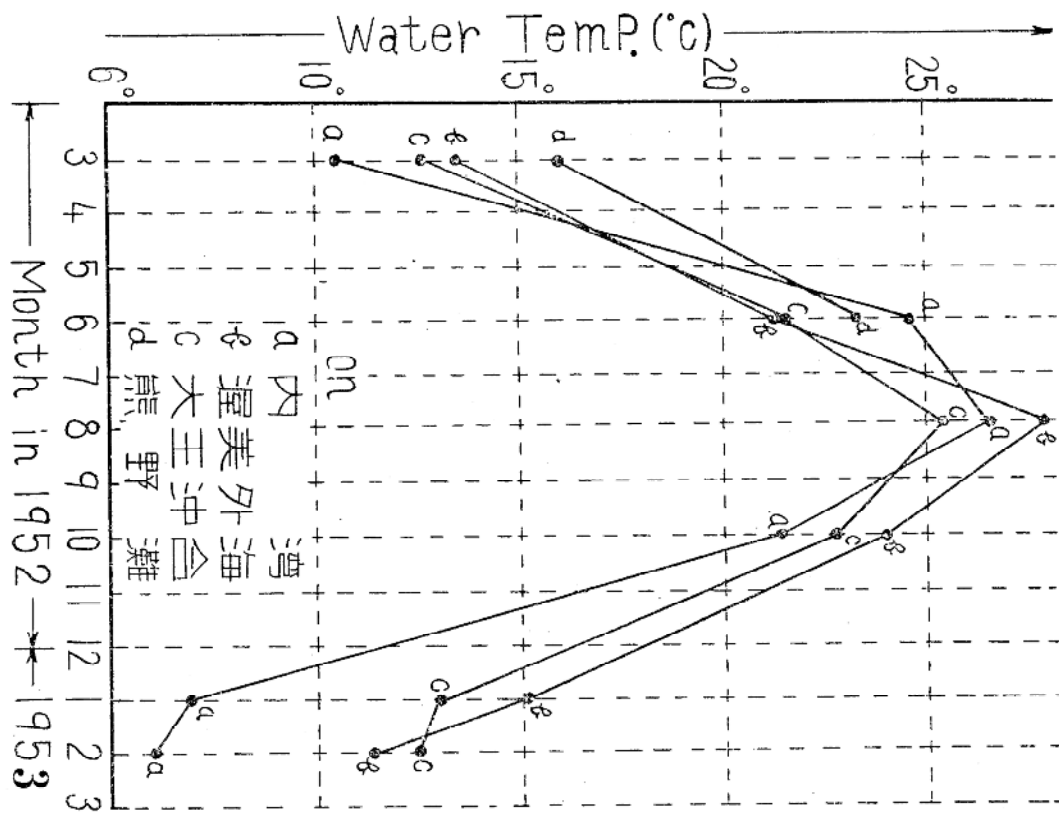


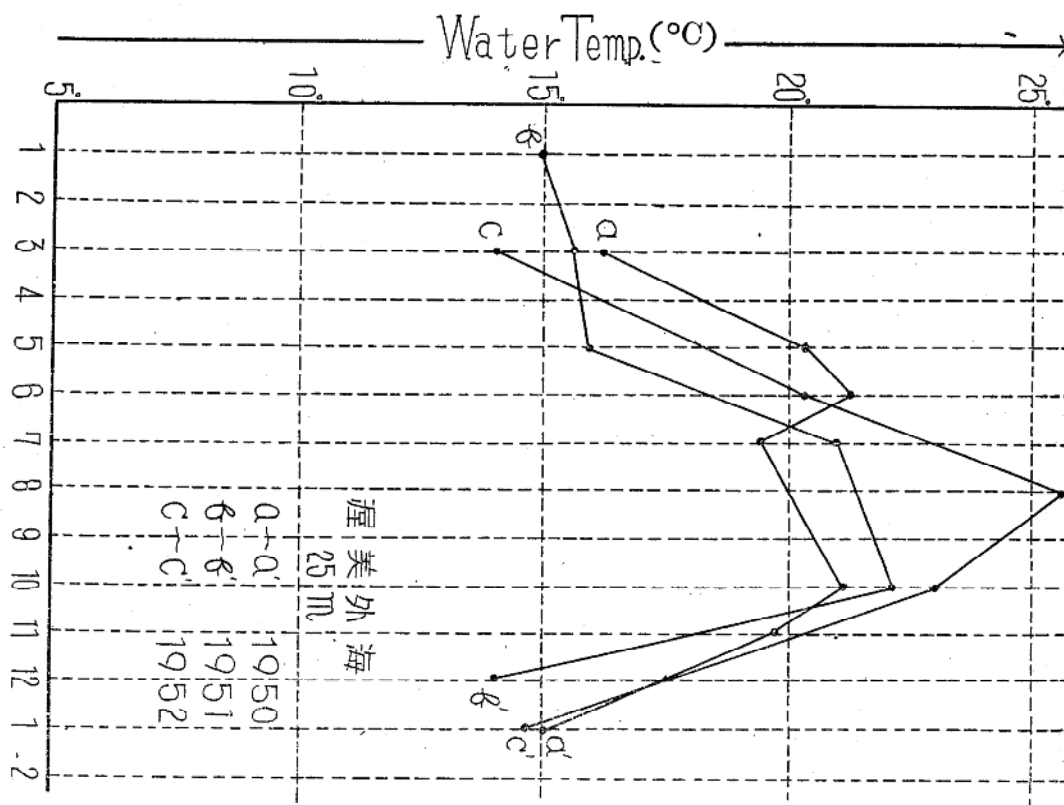
2. 昭和27年3月以降 昭和28年2月に至る海区别の水温及び塩素量の推移

i) 月別、海区别、水深別の平均水温の推移 (°C)

層	月別		27.3	27.6	27.8	27.10	28.1	28.2
	地区別							
〇米	内 灣		10.36	24.79	(三) 26.85 (伊) 26.68	(三) 21.40 (伊) 22.22	(三) 6.65 (伊) 8.76	(三) 6.33 (伊) 7.83
	渥美外海		13.82	21.94	27.72	23.48	15.08	12.42
	大王沖合		13.05	21.97	25.46	22.70	13.79	12.93
	熊野灘		15.87	23.57	—	—	—	14.30
一〇米	内 灣		10.50	21.07	(三) 22.05 (伊) 23.54	(三) 21.95 (伊) 22.18	(三) 6.55 (伊) 8.86	(三) 9.95 (伊) 7.50
	渥美外海		13.80	21.43	27.08	23.22	14.83	12.74
	大王沖合		13.66	21.48	23.96	22.37	13.27	13.02
	熊野灘		15.77	22.83	—	—	—	14.20
二五米	内 灣		10.73	18.89	(伊) 21.66	(三) 21.35 (伊) 21.36	(三) 6.85 (伊) 9.50	(三) 7.80 (伊) 7.90
	渥美外海		14.02	20.26	25.65	22.97	14.80	12.45
	大王沖合		13.80	20.35	21.38	22.47	13.49	13.10
	熊野灘		15.70	22.47	—	—	—	13.90
五〇米	内 灣		10.75	18.50	(伊) ^{48m} 21.00	(伊) 22.10	(伊) 9.90	(伊) 10.20
	渥美外海		14.30	18.20	21.33	22.80	14.60	12.38
	大王沖合		13.98	19.28	23.65	22.35	13.82	13.24
	熊野灘		15.77	21.95	—	—	—	13.90
一〇〇米	内 灣		—	—	—	—	—	—
	渥美外海		14.75	18.60	(80m) 16.40	20.45	14.45	12.40
	大王沖合		14.13	18.10	21.60	21.70	14.05	12.70
	熊野灘		15.83	18.23	—	—	—	14.00
一五〇米	内 灣		—	—	—	—	—	—
	渥美外海		—	—	—	17.90	—	—
	大王沖合		14.65	(120m) 15.25	16.95	21.70	14.53	12.20
	熊野灘		16.10	20.72	—	—	—	13.40

【註】 (三) = 三河灣、 (伊) = 伊勢灣

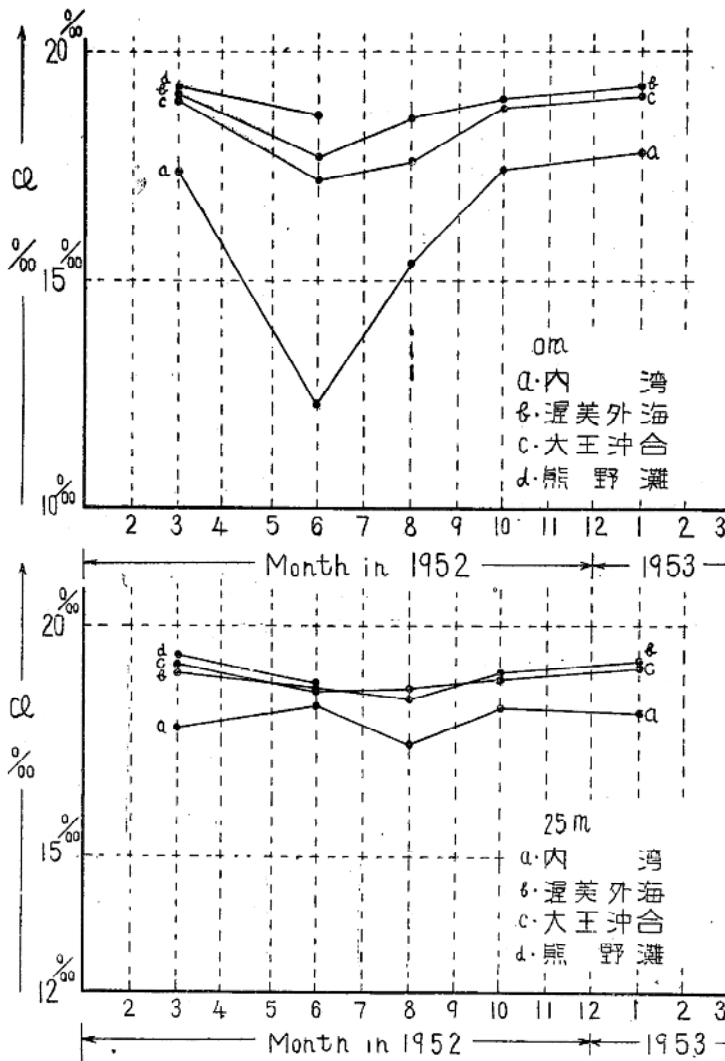




ii) 塩素量 (cl ‰)

層	月別		地区別					
	2 7. 3	2 7. 6	2 7. 8	2 7. 10	2 8. 1	2 8. 2		
〇米	内 灣	17.49	12.29	(三) 14.93 (伊) 15.69	(三) 17.73 (伊) 17.08	(三) 17.73 (伊) 17.93	(三) 17.47 (伊) 17.57	
	渥美外海	19.04	17.67	18.51	18.93	19.19	18.77	
	大王沖合	18.97	17.18	17.52	18.78	19.06	18.80	
	熊野灘	19.20	18.55	—	—	—	18.77	
一〇米	内 灣	17.55	16.59	(三) 17.67 (伊) 16.36	(三) 17.86 (伊) 17.84	(三) 17.75 (伊) 18.08	(三) 17.83 (伊) 17.73	
	渥美外海	19.00	18.34	18.37	18.32	19.21	18.78	
	大王沖合	19.05	18.02	18.24	18.82	19.09	18.86	
	熊野灘	19.28	18.66	—	—	—	18.82	
二五米	内 灣	17.78	18.28	(伊) 17.41	(三) 18.10 (伊) 18.29	(三) 17.88 (伊) 18.37	(三) 17.94 (伊) 17.96	
	渥美外海	19.02	18.58	18.37	18.92	19.18	18.78	
	大王沖合	19.06	18.57	18.53	18.86	19.09	18.83	
	熊野灘	19.28	18.63	—	—	—	18.78	
五〇米	内 灣	18.12	18.91	(伊) 17.73 ^{48m}	(伊) 18.19	(伊) 18.60	(伊) 18.39	
	渥美外海	19.24	19.05	18.54	18.96	19.18	18.78	
	大王沖合	19.12	18.61	18.43	18.75	19.12	18.82	
	熊野灘	19.27	18.69	—	—	—	18.83	

一〇〇米	内 湾	—	—	—	—	—	—
	渥美外海	19.23	18.46	(80m) 18.83	19.09	19.25	18.83
	大王沖合	19.08	18.71	18.52	19.13	19.17	18.77
	熊野灘	19.20	18.86	—	—	—	18.92
一五〇米	内 湾	—	—	—	—	—	—
	渥美外海	—	—	—	19.28	—	—
	大王沖合	19.22	18.77	18.79	18.90	19.28	18.80
	熊野灘	19.25	18.69	—	—	—	18.79



d) 考 察

昭和25年調査開始以降3カ
年の結果を総合してみるに、

i) まいわし

本年度のまいわしの産卵
状況は一昨年来遠州灘沖の
冷水塊が漸次西に移動しな
がら衰弱した傾向が認めら
れ、このためか黒潮の勢力
がかなり沿岸まで顕著に現
われて来たので沖合回游魚
群の沿岸接近が考えられた
が、予想に反し微々たるも
のであつた。

また地方色の濃いものに
ついて一昨年及び昨年同
様全然明るい希望を持つに
足る程のものはなく、今後
の漁模様を云々することは
早計と考えられるが、凡そ
豊漁は期待出来ない。しか

し内湾において漁獲される成魚には抱卵中のものあり、この点からも資源の漸次回復は認められると思う。

ii) かたくちいわし

昨年度の資源調査結果より本年度の漁を予想するに、春期の産卵及びシラス並びに夏季湾内のヒシコ漁は豊漁の感があつたが、秋季の産卵振わず昭和27年11月～28年2月に至る間の渥美外海のシロメ漁は凶漁となつた。これは悪天候続きのため操業出来なかつたというこ

とも一因があるであろうが、一部夏季湾内への回游状況の変化が影響してゐるのではなからうかと考えられる。

iii) うるめいわし

うるめいわしについては一昨年、昨年同様本年もまた不漁の状態である。即ち産卵調査に於ける卵稚仔の採集量は僅かに春先き渥美外海及び大王崎沖合においてほんの少しばかり認められたが、これは産業的に見た場合殆んど操業の対照となる程の資源量とはなり得ないであろうと推察せられた。

B 魚 体 調 査 (陸上)

資源量の推移を知る生物学的研究。

a) 調 査 法

1. 調査港及び調査の対照となる魚種並びに漁具

- i) 西 浦 いわし類 地曳網及びパツチ網
- ii) 赤羽根 いわし類 地曳網及びシロメ網
- iii) 豊 浜 いわし類 巾着網
- iv) 三 谷 いわし類 角建網及びパツチ網

2. 抽 出 計 画

- 調査港 A 西 浦 抽出比 1/5
- 調査港 B 赤羽根 抽出比 1/5
- 調査港 C 豊 浜 抽出比 1/7
- 調査港 D 三 谷 抽出比 1/5

b) 調 査 結 果

A : 西 浦

地 曳 網

Date	魚 体 名	調査港に 於ける		標本船の		標 本 に 就 い て					
		総入 港船 数	総水揚量	抽出比	総 漁 獲 量	船よりの 抽 出 比	No.	Body length	σ	C.V	体長分布の中心
27. 4. 28	シ	5	10	1/5	2	1/1,200	255	2.145 ^{cm}	0.558	26.13	1.9 ^{cm}
27. 5. 3	シ	3	12	1/3	4	1/1,700	331	1.843	0.370	20.08	1.9 1.5
27. 5. 8	シ	6	1,260	2/6	200	1/32,000	138	3.064	0.384	12.52	3.5
27. 5. 8	シ	6	1,260	2/6	320	1/56,000	143	2.994	0.418	13.96	3.3
27. 5. 13	シ	8	800	2/8	72	1/29,000	86	2.788	0.477	17.11	3.5 2.9 2.1
27. 5. 13	シ	8	800	2/8	80	1/23,500	91	2.970	0.551	18.55	3.5
27. 5. 18	シ	8	396	2/8	52	1/14,000	67	3.339	0.219	6.56	3.5
27. 5. 18	シ	8	396	2/8	48	1/113,000	64	3.166	0.427	13.49	3.5
27.. 5 23	シ 成	5	128	1/5	12	1/5,400	122	2.097	0.315	15.02	1.9
						1/700	60	3.508	0.111	3.16	3.5

27. 6. 17	シ	2	12.8	1/2	8.8	1/500	4	3.050	0.089	7.69	3.1
	成					1/650	57	4.202	0.323	2.92	4.0
27. 6. 22	シ	2	8.4	1/2	4.4	1/370	4	3.100	0.141	4.55	3.1
	成					1/300	60	4.367	0.301	6.89	4.5
27. 6. 28	シ	1	20	1/1	20	1/1,250	3	2.367	0.340	14.36	
	成					1/1,100	60	4.625	0.312	6.75	4.5
27. 7. 3	成	1	12	1/1	12	1/600	60	4.617	0.716	15.51	5.0

パ ツ 、 チ 網

Date	魚 体 名	調査港に 於ける		標本船の		標 本 に 就 い て					
		総入 港船 数	総水揚量	抽出比	総漁 獲量	船よりの 抽出比	No.	Body length	σ	C.V	体長分布の中心
27. 5. 23	シ				貫 100	1/6,500	31	2.719 ^{cm}	0.380	13.98	2.5 2.9 ^{cm}
	成					1/30,700	60	3.575	0.201	5.62	3.5
27. 7. 19	成	1	貫 3,000	1/1	3,000	マイワシ 1/8,000	36	9.263	0.363	3.92	9.0
						1/23,000	60	6.150	0.380	6.18	6.0
27. 7. 23	成	7	8,400	1/7	1,200	1/19,000	90	6.583	0.227	3.45	6.5
27. 7. 27	成	7	9,100	1/7	1,300	1/30,000	32	6.875	0.250	3.64	7.0
27. 8. 1	成	7	9,800	1/7	1,400	1/45,000	27	7.037	0.358	5.06	7.0
27. 8. 6	成	7	8,000	1/7	1,150	1/30,000	33	6.636	0.283	4.26	6.5
27. 8. 11	成	7	12,000	1/7	1,750	1/40,000	31	7.225	0.356	4.93	7.0
27. 8. 16	成	7	2,500	1/7	350	1/10,500	20	7.475	0.370	4.95	7.5
27. 8. 23	成	7	8,400	1/7	1,260	1/25,000	24	7.604	0.203	2.67	7.5
27. 8. 26	成	7	8,890	1/7	1,270	1/23,000	37	7.700	0.356	4.62	7.5
27. 8. 31	成	7	9,800	1/7	1,400	1/45,000	20	7.125	0.444	6.23	7.0
27. 9. 7	成	7	11,200	1/7	1,600	1/25,000	27	7.740	0.344	4.44	7.5
27. 9. 11	成	7	14,700	1/7	2,100	1/65,000	15	7.600	0.271	3.57	7.0
27. 9. 15	成	7	10,500	1/7	1,500	1/44,000	47	5.617	0.865	15.40	6.0
27. 9. 21	成	7	9,300	1/7	1,320	1/34,000	24	7.375	0.484	6.56	7.5
27. 9. 26	成	7	3,850	1/7	550	1/13,000	25	7.460	0.372	4.99	7.5
27. 9. 30	成	7	10,850	1/7	1,550	1/75,000	31	5.752	0.954	17.53	5.0
27. 10. 11	成	7	6,020	1/7	860	1/37,000	52	5.028	0.654	13.01	5.0
27. 10. 17	成	7	8,000	1/7	1,230	1/42,000	57	4.764	0.894	18.77	5.0
27. 10. 21	成	7	7,200	1/7	1,020	1/31,000	40	6.163	0.424	6.88	6.0
27. 10. 25	成	7	2,870	1/7	410	1/9,500	23	7.979	0.841	10.54	9.0

27.10.30	成	7	5,460	1/7	780	1/17,000	20	8.450	1.264	14.96	9.0
27.11.5	成	7	5,600	1/7	800	1/24,000	28	7.036	0.499	7.09	7.0
27.11.11	成	7	2,250	1/7	320	1/8,400	34	7.029	0.555	7.90	7.0
27.11.15	成	7	4,200	1/7	600	1/18,000	39	6.301	0.646	10.18	6.5
27.11.19	成	7	4,000	1/7	1,000	1/24,000	14	9.500	0.626	6.59	9.5
27.11.26	成	7	3,780	1/7	540	1/14,000	13	9.284	0.400	4.31	9.5
27.11.29	成	5	750	1/5	150	1/2,900	20	9.075	1.371	15.11	10.0
27.12.15	成	3	360	1/3	120	1/2,700	16	9.531	0.329	3.45	9.5

B : 赤羽根

地 曳 網

Date	魚体名	調査港に於ける		標本船の		標本に就いて					
		総入港船数	総水揚量	抽出比	総獲漁量	船よりの抽出比	No.	Body length	σ	C.V	体長分布の中心
27.4.16	成	隻 7	貫 400	1/7	貫 77	1/2,000	19	cm 6.255	1.373	22.31	cm 6.5 10.0
27.6.21	成	2	90	1/2	20	1/730	59	5.381	0.941	17.49	5.0
27.6.25	成	1	8	1/1	8	1/250	60	4.883	0.602	12.33	4.5
	1/110					67	3.345	0.238	7.12	3.5	
27.10.23	シ	1	16	1/1	16	1/16,000	76	2.303	0.308	13.81	2.1
28.1.9	成	3	120	1/3	47	1/1,350	15	9.033	0.901	9.97	9.5

シ ロ メ 網

Date	魚体名	調査港に於ける		標本船の		標本に就いて					
		総入港船数	総水揚量	抽出比	総獲漁量	船よりの抽出比	No.	Body length	σ	C.V	体長分布の中心
27.5.1	シ	隻 24	貫 1,350	2/24	貫 300	1/86,000	138	2.494	0.314	12.57	2.5
27.5.1	シ	24	1,350	2/24	200	1/42,000	101	3.187	0.319	10.00	3.5
27.5.6	シ	24	2,300	1/24	330	1/54,000	104	3.317	0.263	7.93	3.5
27.5.14	シ	13	2,700	1/13	174	1/39,000	69	3.342	0.254	7.60	3.5
27.5.16	成	24	7,400	3/24	335	1/38,000	64	3.648	0.236	6.47	3.5
	1/6,000					67	3.479	0.078	2.25	3.5	
27.5.16	成	24	7,400	3/24	420	1/22,700	81	4.006	0.517	12.90	3.5
	1/8,000					67	3.375	0.177	5.25	3.5	
27.5.16	成	24	7,400	3/24	260	1/16,700	61	4.254	1.301	30.58	4.5
	1/4,100					65	3.420	0.280	8.19	3.5	

27. 5.22	成	25	1,064	2/25	120	1/5,200	60	4.133	0.680	16.45	4.0
	シ					1/1,600	48	3.458	0.1350	3.90	3.5
27. 5.22	成	25	1,064	2/25	86	1/1,300	60	4.075	0.638	15.66	3.5
	シ					1/1,000	60	3.450	0.140	4.06	3.5
27. 5.26	成	25	4,000	1/25	34	01/8,600	60	5.783	1.179	20.39	5.5
27. 5.29	成	10	1,650	1/10	96	1/16,200	60	3.384	0.248	7.33	3.5
27. 5.31	成	8	380	2/8	90	1/3,640	60	5.008	0.357	7.13	5.0
	シ					1/5,400	119	2.253	0.605	26.85	2.3 2.7 1.9
27. 5.31	成	8	380	2/8	54	1/5,900	60	3.733	0.608	16.29	3.5
	シ					1/1,000	64	3.056	0.457	14.95	3.5
27. 6. 5	成	23	1,200	1/23	60	1/5,900	60	3.908	0.424	10.85	4.0
	シ					1/1,000	26	3.154	0.374	11.86	3.5
27. 6.11	成	23	680	1/23	80	1/2,500	60	5.483	1.188	21.67	4.5 5.5
	シ					1/850	3	3.166	0.250	7.90	
27. 6.17	成	25	3,540	1/25	384	1/10,500	60	5.925	1.193	20.14	5.5 4.5 7.0
27. 7. 6	成	25	1,553	1/25	280	11/5,500	39	7.743	0.628	8.11	8.0
27. 7.18	成	25	900	1/25	140	1/3,400	20	4.550	0.498	10.95	4.5
	シ					1/530,000	13	2.577	0.286	11.10	2.5
27. 7.18	シ	25	900	2/25	170	1/157,500	89	2.435	0.327	13.43	2.1
27. 7.25	シ	22	947	2/22	208	1/81,200	80	2.735	0.4204	15.36	2.5
27. 7.25	シ	22	947	2/22	157	1/72,000	76	2.874	0.356	12.56	2.9
27. 8. 4	成	25	1,418	1/25	172	1/7,700	47	5.521	0.550	9.96	5.0
27. 8.12	シ	25	750	2/25	40	1/25,000	101	2.449	0.360	14.70	2.3
27. 8.12	シ	25	750	2/25	35	1/18,000	65	2.337	0.329	11.20	2.9
27. 8.14	シ	25	2,732	1/25	80	1/73,000	96	2.154	0.352	16.34	2.1
27. 9.10	シ	18	1,130	1/18	240	1/353,000	94	1.964	0.310	15.78	1.9
27. 9.13	シ	12	170	1/12	37	1/90,300	87	1.801	0.456	25.32	1.5
27. 9.29	シ	20	1,240	1/20	132	1/314,000	106	1.540	0.228	14.81	1.5
27.10. 4	シ	10	500	2/10	27	1/24,000	60	2.487	0.434	17.45	2.3
27.10. 4	シ	10	500	2/10	40	1/48,400	75	2.161	0.402	18.60	1.9 2.5
27.10.13	シ	8	570	1/8	53	1166,200	64	2.263	0.264	11.67	2.1
27.11. 2	シ	12	460	1/12	48	1/43,800	74	2.341	0.306	13.07	2.3
27.11. 7	シ	20	334	1/20	50	1/28,000	71	2.782	0.301	10.82	2.9
27.11.12	シ	3	45	1/3	23	1/21,000	98	2.145	0.358	16.69	1.9
27.11.27	シ	24	1,048	1/24	20	1/18,800	73	2.382	0.234	9.82	2.5

28. 1.21	シ	1	48	1/1	48	1/26,500	62	2.865	0.412	14.38	2.9
----------	---	---	----	-----	----	----------	----	-------	-------	-------	-----

C : 豊 浜
巾 着 網

Date	魚 体 名	調査港に 於ける		標本船の		標 本 に 就 い て					
		総入 港船 数	総水揚量	抽出比	総 漁 獲 量	船よりの 抽 出 比	No.	Body length	σ	C.V	体長分布の中心
27. 4. 17	成	2	7,000	1/2	5,000	1/63,000	26	9.404	0.316	3.36	9.5 ^{cm}

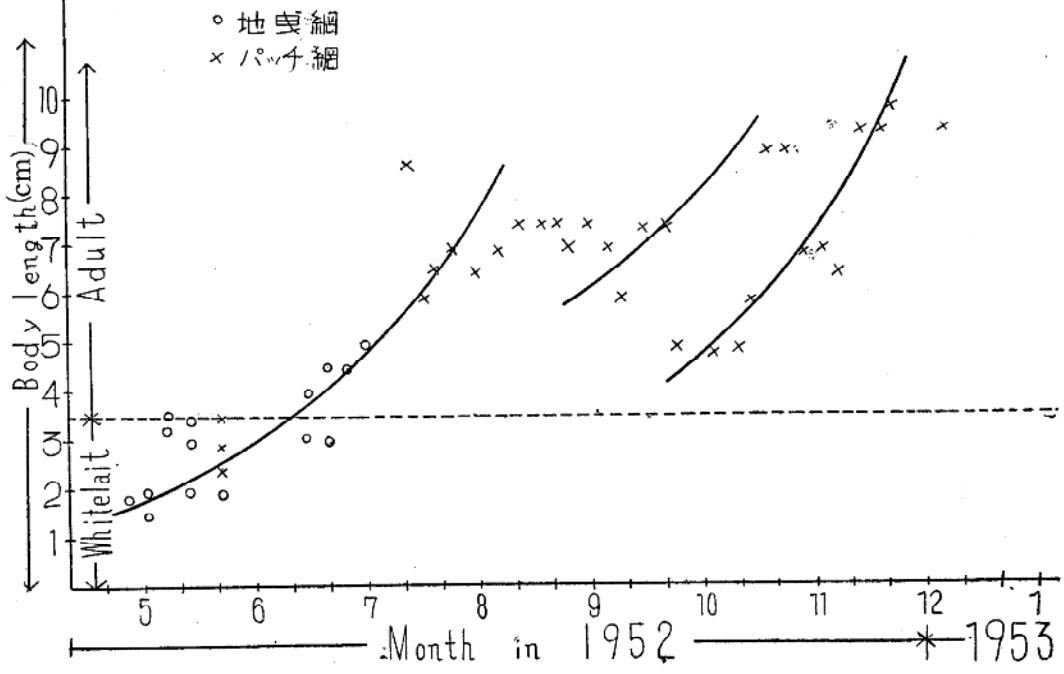
パ ツ チ 網

Date	魚 体 名	調査港に 於ける		標本船の		標 本 に 就 い て					
		総入 港船 数	総水揚量	抽出比	総 漁 獲 量	船よりの 抽 出 比	No.	Body length	σ	C.V	体長分布の中心
27. 4. 24	成				1,120	1/6,950	71	9.450	0.794	8.402	9.0 ^{cm}

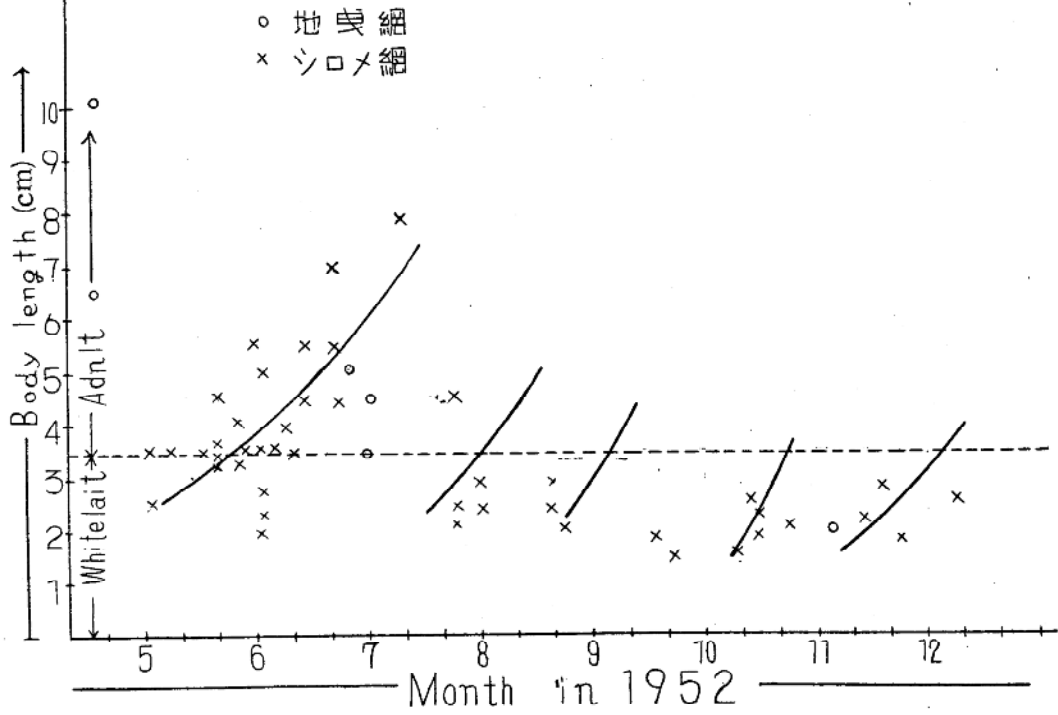
D : 三 谷
角 建 網

Date	魚 体 名	調査港に 於ける		標本船の		標 本 に 就 い て					
		総入 港船 数	総水揚量	抽出比	総 漁 獲 量	船よりの 抽 出 比	No.	Body length	σ	C.V	体長分布の中心
27. 5. 3	成	統分 4	貫 11				17	9.256 ^{cm}	0.572	6.19	9.5 ^{cm}
27. 5. 22	成	5	17.15				23	9.674	0.592	6.12	9.5
27. 5. 24	成	5	13				8	9.750	0.500	5.13	10.0
27. 5. 26	成	5	21.12				17	9.667	0.663	6.86	10.0
27. 5. 29	成	4	10.2				25	9.840	0.543	5.52	10.0
27. 5. 30	成	8	28.28				20	9.825	0.676	6.88	9.5
27. 6. 3	成	25	83.45				32	9.891	0.682	6.90	9.5
27. 6. 24	成	20	62				24	10.520	0.636	6.06	10.0
27. 6. 29	成	10	58.05				17	10.088	0.624	6.19	10.0
27. 8. 27	成	5	40				11	7.682	1.415	18.42	7.5 8.0
27. 9. 17	成	5	40				7	8.128	0.235	2.89	8.0
27. 11. 6	成	5	16				5	9.600	0.200	2.08	9.5
27. 11. 11	成	5	25				8	9.250	0.433	4.68	9.0 9.5
27. 11. 22	成	5	47				7	9.642	0.206	2.14	9.5

A: 西 浦



B: 赤 羽 根



C 漁況並びに漁獲量調査

本年度の鰯漁況は昨年度に較べ、総漁獲量に於て稍々減少の傾向を示している。これが原因としては、近年遠州灘沖合にみられる冷水塊による海況の変化、特に沿岸漁況への影響並びにこれに起因するであろうと思われる薩南海域よりの大回游群との混合接触が保たれなくなつたこと等が考えられる、尙、この外、ここ数年とみに発達して来た漁獲強度の大きいパッチ網による濫獲がたたつたのではなからうか、一因として考慮されるべきであろう。

次に周年の魚種別の盛漁期、主漁場、漁具等についてみると、周年にわたる（特に春先より晩秋に至る間）渥美外海に於ける「しらす船曳網（しろめ網）」による「しらす」並びに「小羽のかたくち」が主位として大半を占め、夏季より晩秋にかけての湾内パッチ網による「小羽、中羽のかたくち漁」がこれに次ぎ、これら二つの漁獲量の合計は全漁獲量の7割以上を占める。

尙、地方的な「小中羽まいわし」の漁獲が僅かにみられる外は「うるめいわし」の漁は全然みられない。

a) 漁獲量調査表（年度別）

年 別	マイワシ	カタクチ	ウルメ	シラス	合 計
昭和 24 年		1,560,689		157,813	1,718,502
昭和 25 年	21,040	3,838,973		628,841	4,488,854
昭和 26 年	1,000	4,526,950		964,623	5,492,573
昭和 27 年	106,616	3,858,431	3,151	632,017	4,600,215

但し 昭和 24 年度は 1 月、2 月、3 月の資料を含まず。

b) 昭和 27 年 月別、魚種別、郡別 漁獲量調査表 ——次頁参照——

Ⅲ. 小型底曳網漁業轉換試験

県下に於ける小型底曳漁業の減船整備に伴い、これが被整理漁民の漁業轉換対策としては、海洋漁業への轉換着業による打開策を講ずることが最も望ましく、急務を要するのであるが、無経験漁民の遠洋漁業への速時轉換は資金面、或は技術面に於ても困難であつて当面の問題として最少の必要轉換資金をもつて海洋漁業への進出、轉換を企図するよう要望され、被整理船は一般底曳船の如く和船型作りではあるがこれに若干の改装を加えることによつて、近海鮪延繩漁業への轉換について操業の適否を試験、調査すべく本場としては、被整理船の一つを試験担当船として当て、技術的には鰹 1 本釣より比較的取組み易いと見做される鮪延繩漁業試験を実施した。

1. 試験期間 昭和 27 年 7 月 17 日 ~ 昭和 28 年 3 月 18 日
2. 担当船 船名 海幸丸 (小型底曳網漁業の被整理船)
 総噸数 32.92 噸
 主機関 ジーゼル 120 馬力
 補機関 ジーゼル 8 馬力